



正光寺だより 68

YouTube 「正光寺のお寺チャンネル」 住職の法話が聞けます。

ホームページ 「神戸正光寺」 <https://www.shokoji-kobe.com>

「安穩殿」本堂西側。令和6年2月完成。葬儀・法要等にご利用可能です。

7月の予定

歎異抄輪読会と瞑想	7月17日(水)	午後 2:00~4:00	
お寺ヨガ(椅子ヨガ)	7月19日(金)	午後 2:00~3:30	
日曜学校	7月31日(水)	午前 9:00~	(夏休みの工作)

ご報告

- ① 正光寺で法要等をされる方が増えてきております。「安穩殿」は冷暖房完備バリアフリーになっております。駐車場も広くなり、車椅子でのご参詣も可能です。
- ② お盆参り・初盆ご依頼ください。8月14日(水) 盂蘭盆会法要 13:30
- ③ 住職の春の叙勲(瑞宝双光章)住職継承50年の記念品をお配りしています。



ご案内

9月22日(日) 13:30 秋期彼岸会法要修了後、正光寺顧問弁護士による「終活に関する問題点を」をテーマにご講演いただきます。ご質問は事前に内容を正光寺にご連絡ください。(守秘義務厳守)

世のなか安穩なれ

東京都知事選、アメリカ大統領選から見える都民ファースト・アメリカンファーストなどの声をよく聞く。「ファースト」とは最優先・第一主義などと訳されている。一時期(エスノセントリズム)自民族(自国民)中心主義などの言葉が流行ったことがある。世界は今グローバル化の時代である。そのことに逆行しているとも思える言動である。親鸞(1173~1263)は「世のなか安穩なれ(平和) 佛法(念佛) ひろまれ」とご消息(手紙)に述べている。当時、世の中は源氏と平家の争い、貴族社会から武士の台頭、天変地異(地震、大火、つむじ風、飢饉、疫病など)騒然としていた。現在は戦争、コロナ、自然災害、貧困など、800年の時代の隔たりがあるが本質的に特別な変化はない。親鸞は承安三年(1173)誕生(忠安)9歳で出家(範宴)20年間比叡山で堂僧として修業、世の乱れ自己の心の悩みに(修行、学問、愛欲、名聞利養名声と財欲)苦悩する。29歳の時、意を決して百日間の六角堂の参籠の後、法然門下に入る(綽空)35歳の時、念仏停止(ちょうじ)の命令、法然は四国へ、親鸞は越後に流罪となる。後鳥羽天皇が熊野に参詣の時、女官(松虫、鈴虫)が許可なしに出家したために激怒した天皇は念佛宗を解散(承元の法難)したのである。安楽、住蓮など4人は死罪、比叡山、興福寺などの横りもあったと考えられる。その様子を後世ご本典(教行信証)に『主上臣下(天皇も家臣たちも)法(仏)に背き義(道理)に異し 怨みを持って忿(いかり)を成す』と時の権力(朝廷)を旧糾弾している御文である。聖人の90年は常に自己と向き合い、世の矛盾との戦いであった。

合掌。 正光寺(078-982-5959)